



伝統行事と地域のつながり

かなやませんげんじんじゃ はつやままいり

鳥之郷地区長手町

金山浅間神社 初山参り

地域の祭りや伝統行事が失われつつある中、長手町では、室町時代から続く金山浅間神社で毎年「初山参り」を開催しています。

この伝統行事を通じて、長手町では地域の絆が深まり、世代間の交流も深まっています。長手町の「初山参り」を、地域の「お宝」としてご紹介いたします。



長手町こども会の皆さん

神社印。浅間神社は富士山信仰のため、富士山が彫り込まれています。



令和6年7月20日(土)、金山浅間神社にて「初山参り」が開催されました。「初山参り」とは、赤ちゃん「初めて山に登る」という意味から名付けられた行事で、その年に生まれた赤ちゃんの おでこに赤い神社印を押し、健やかな成長を祈願します。

この行事に合わせ、こども会はお神輿を担いで町内を練り歩き、地域のボランティアさんもくじ引きなどを用意して子どもたちが楽しめるよう工夫しました。

長手町では地域全体でこの行事を盛り上げ、次世代へ伝統行事を受け継ぐことができました。



金山浅間神社



ご神体の木花之佐久夜毘売命(このはなのさくやひめのみこと)

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

地域とつながる皆さんにお話を伺いました



(左) 川島喜美雄
佐野勝区長代理
(右) 長尾美穂区長

「初山参り」の開催について、参加者の減少やお祭りの担い手不足が問題となり、町内で今後の対応について話し合いが行われました。
話し合いに参加した方々からは、誰一人として「辞めてしまおう」という声は上がらず、形を変えてでも継承していこうという結論に至りました。
皆さんの熱意がこの伝統行事を守っています。



子どもたちにポスターを作成してもらい、掲示しました。

神社総代 長尾清さん



子どもたちのためにボランティアで参加しました。

(左) 椿日登美さん、(右) 長尾美穂さん



お楽しみがいっぱい



3人は中学1年生

(左) 椿慎太郎さん
(中央) 金子未桜さん
(右) 吉田鉄平くん

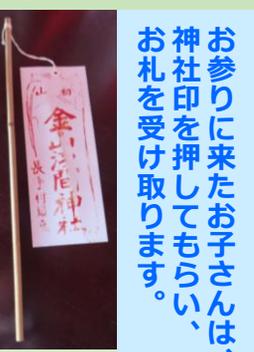


子どもたちが作成したポスター



神輿を担いで町内を練り歩きます

お子さんの健康を祈願してお参りに来られたご家族のご紹介



お参りに来たお子さんは、神社印を押してもらい、お札を受け取ります。



吉田さんご一家
伊己瑠くん 5歳
灯くん 4歳
朱臣くん 7か月



堀口さんご一家
柑那ちゃん 15歳
陽琉ちゃん 5歳

まとめ

コロナ禍で中断した年もありましたが、町内みんなで盛り上げ伝統行事を継承することで、子どもたちの心に楽しい思い出として残り、地域のつながりも深まりました。今後もこの伝統行事を続けてほしいと願っています。

太田市社会福祉協議会では、太田市全地区で「つながる通信」を発行しています。右のQRコードを読み取ると、これまでに発行された「つながる通信」をご覧ください。



お問い合わせ
太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229